

# 推進・シールド複合工法 アルティミックス工法



アルティミックス工法は、アルティミット工法による推進工法とシールド工法を 組み合わせて管路を築造する複合工法です。当初は推進工法で施工し推進力の限界 位置や急曲線区間、軌道下等の構造物手前の任意位置からシールド工法に切り替え ることができます。アルティミット工法の超長距離・急曲線推進システムを採用す ることで推進区間の延長を伸ばし、コストダウンを図ることができます。

#### 1. 工法の特長

- ・複合工法により効率よく、また経済的に長距離管路を築造することができます。
- 土質条件に合わせて泥水式および土圧式を選定します。
- 施工条件に合わせて管材を選定します。

#### 2. 適用条件

呼び径:1650~3000

適用土質:アルティミット工法に準ずる

適用曲線:推進区間 アルティミット工法に準ずる

シールド区間 最小曲線半径R=12m

### 3. 適用管材



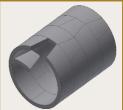
推進管



推進管(特厚)



合成鋼管



ULTIMIX用 RCセグメント



鋼製セグメント

管材:日本ヒューム(株)

## 4. 施工事例

工 事 名:瀬戸第3号雨水幹線(戌ノ方谷工区)布設工事

発 注 者:明石市下水道建設課

エ 法:アルティミックス工法(泥濃式)

工事内容: 推進・シールド総延長 L=405.863m

推進区間 L=376.775m (呼び径2000推進管)

シールド区間 L=29.088m (内径2000合成セグメント)

最小曲線: R=15m (シールド区間)



アルティミックス掘進機



推進・シールド切替部



<u>シールド区間(R=15m)</u>

Q 機動建設工業株式会社 KIDOH CONSTRUCTION CO.,LTD.